

お知らせ

栃木県立図書館開館80周年

栃木県立図書館は令和8(2026)年11月に開館80周年を迎えます。
明治43(1910)年に県立図書館の母体となる「二宮文庫」が開設、昭和10(1935)年に栃木県教育会図書館となり、その後、昭和21(1946)年に「栃木県立図書館」として開館しました。

このことを記念して、ロビー展示のほか、さまざまなイベントを行います。今後の予定は、当館ホームページ「開館80周年」特設ページをご覧ください。

■ロビー展示「開館80周年記念展示 県立図書館解体新書」

二宮文庫から現在までの「沿革」のほか、「建物」・「図書館資料」・「検索」・「イベント」などの切り口で、当館の80年間の積み重ねを紹介します。

また、展示内では記念のしおりを配布予定です。

〔期間〕 7月24日(金)から9月23日(水)

■Facebook・Instagram連載企画「#栃木県立図書館開館80周年」

県立図書館の歴史やマメ知識、記念展示に関する投稿を行っています。
共通ハッシュタグ「#栃木県立図書館開館80周年」でぜひご覧ください。

〔期間〕 5月13日(水)から12月23日(水)

記念ロゴが完成しました！



「開館80周年」特設ページは
こちらから

館内
展示資料展示「大関和を追いかけて」一部展示替え&
連続テレビ小説「『風、薫る』の世界」巡回展

1階ロビーを中心に、地域資料室等、他の公開資料室も含めた回遊型展示として開催中の資料展示「大関和を追いかけて」について、一部展示替えを行いました。

【新しい展示】 5月29日(金)から7月22日(水)まで

- ・1階ロビー 「明治の東京 連続テレビ小説『風、薫る』の舞台を探して」
- ・2階踊り場 「シスターフッドはめぐる」
- ・3階地域資料室 「栃木県ゆかりの俳優たち」

また、6月16日(火)から6月21日(日)まで「連続テレビ小説『風、薫る』の世界」巡回展を当館1階ホールで開催しました。

たくさんのご来場ありがとうございました。



後期展示



巡回展の様子

第407号の
主な内容

- ・栃木県立図書館開館80周年…p.1
- ・資料展示「大関和を追いかけて」、巡回展…p.1
- ・県民ライブコンサート…p.2
- ・「負けるな！ ギョーザランド！！」…p.2
- ・＜連載＞館長コラム…p.3
- ・課題解決コーナー展示「相続・遺言・終活」…p.3
- ・＜連載＞司書の日(おすすめ本紹介) …p.4
- ・イベント案内&カレンダー…p.4



栃木県立図書館開館80周年記念「県民ライブコンサート」

コンサート

今年度の県民ライブコンサート全6回のうち、1回目のコンサートを開催しました。多くの方にご来場いただきありがとうございました。

第2回から第4回の予定は以下のとおりです。会場は当館1階ホールです。その他公演に関する詳細は、館内やホームページのチラシをご覧ください。

第2回:題名のある音楽会Vol.7(イギリスの音楽)

日時 7月5日(日)

13時30分開場 14時開演

出演 斎藤享久 ほか

曲目 「水上の音楽」より、愛のあいさつ 等

第200回記念



第1回:マウンテンダルシマーによるコンサート
5月9日(土) 岡田正樹

第3回:【子ども対象】親子で楽しむサマーコンサート
(ムジカ☆シュピーレン)

日時 8月29日(土) 14時開演

出演 奥村琳 亀山由紀子 久保亜未 早川満世

曲目 動物の謝肉祭 等

第4回:歌とヴァイオリンとピアノで贈る

ハートフルコンサート

日時 9月13日(日) 14時開演

出演 結音(ゆいおと)

曲目 Stand Alone、エーデルワイス 等

<コンサートの歴史>

昭和63(1988)年8月、第1回「ミニコンサート」としてスタートしました。その後、平成8(1996)年4月に「クラシックライブコンサート」となり、平成25(2013)年4月より現在の「県民ライブコンサート」として開催しています。震災やコロナ禍による中止がありつつも事業を継続し、約38年が経ちました。

そして、令和8(2026)年7月5日に、記念すべき第200回を迎えます！

令和8(2026)年度開催予定(10月以降)

第5回:「チロルの風をあなたに」コンサート

10月11日(日) 那須ハングリーアンサンブル

第6回:クラリネット、サクソフォーンとピアノによるコンサート

11月1日(日) Ensemble Luce

■視聴覚室展示

「マイルス・デイビス 生誕100年」展示中

お知らせ

栃木県立図書館開館80周年記念

『負けるな！ギョーザランド！！』

朗読会&トークイベント

昨年8月にご当地コミックエッセイ『負けるな！ギョーザランド！！』を出版した漫画家・いちごとまるがおさんが県立図書館に来館！著者自身によるマンガの朗読会とトークイベントを開催します。ぜひご参加ください！



©いちごとまるがおさん・
篠崎茂雄/小学館

日時:令和8(2026)年8月22日(土) 14:00から15:00 (受付 13:30から)

イベント終了後、希望者のみサイン会を予定しています(15分程度)

※書籍の販売はありません。サイン会参加希望者は著作をお持ちください。

会場:栃木県立図書館1階ホール

内容:『負けるな！ギョーザランド！！』の作者・いちごとまるがおさんが、同マンガの朗読と制作秘話等のトークイベントを行います。

参加者からの質問にもお答えします！



申込フォーム

〈館長コラム〉

『コチラは県移動図書館あけぼの号、 皆様のご利用をお待ちしております』



図書館だより前号(№406)にも記しましたが、1950(昭和25)年から2000(平成12)年まで運用していた移動図書館は、昭和50年代以降県内の市町村立図書館の整備が飛躍的に進み、県立図書館としての役割が変化していくまでの間、当館事業の大きな柱の一つとなっていました。

移動図書館車の名称「あけぼの」は、公募により決定されました。当初の巡回コースは4つ、「ステーション」と呼ばれる巡回地(駐車場)46箇所を4週間ごとに巡回する形で開始されました。いずれのコースも宿泊を伴うもので、道路状況は悪く、学校に宿泊する時もあり、体調を崩す乗務員もいたそうです。あけぼの号は巡回先の町に入ると、スピーカーを通じて『コチラは県移動図書館あけぼの号…』のアナウンスと宣伝放送を行って到着を知らせながら、町内を一巡してステーションに駐車しました。巡回開始当初はまず移動図書館を知ってもらうために、映画会の開催なども行いました。県立図書館の機能そのものが移動するという考えのもと、貸出だけではなく県民の読書活動推進のため様々な取組にも力を入れましたが、こうした取組は40分のステーション滞在時間だけでできるものではなく、市町村の公民館職員を中心とした「ステーションマスター」というステーションの運営責任者の方々の尽力により可能となるものでした。あけぼの号に対する県民の期待は大きく、未巡回の市町村からの巡回要請が相次ぎ、1952年には2号車が、1953年には3号車が完成し、3台のあけぼの号が、昭和40年代のピーク時には40コース、196ステーションを巡回しました。移動図書館を支える組織も結成されて、節目の年には記念式典が盛大に開催され、10年ごとに記念誌が発刊されるほど大きな事業になったのです。

こうして当時の様子を知ることができるのも、その記念誌に先人たちが詳細な記録を留めたおかげであり、これら記念誌は、当館3階の地域資料室で手に取っていただくことができます。県の移動図書館は終了しましたが、今は、お近くの図書館で他の図書館の資料も利用できるよう、協力車が県内図書館等を巡回しています。図書館は様々な取組を続けながら皆様のご利用をお待ちしております。(県立図書館長)

館内
展示

課題解決支援コーナー展示

「相続・遺言・終活～“もしも”の前に読んでおきたい本～」

現在、公開資料室2階の「地域福祉情報コーナー」では、いざという時に役立つ相続や遺言、終活に関する資料を紹介しています。近年は相続登記の義務化や相続土地国庫帰属制度の創設など制度改正が進み、制度の内容を知っておくことが大切になっています。

本展示では、相続や贈与の基本をはじめ、戸籍の読み方、遺言書の作成、生前整理など、実務的な内容から初めて学ぶ方にもわかりやすい入門書まで、幅広いテーマの図書をそろえました。また、展示資料をまとめたブックリストも配布しています。気になる資料がありましたら、ぜひ手に取ってご覧いただき、将来の備えにお役立てください。



実施
報告

県民の日記念イベント出展

6月13日(土)に栃木県庁舎で開催された県民の日記念イベントに当館もブースを出展しました。

図書館内で開催中の「大関和を追いかけて」の展示等の紹介や、「開館80周年記念」等のオリジナルブックカバーの配布も行いました。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。





わたしの1冊 読んでみませんか？

『〈栄養〉の誕生』 (巽美奈子／著 新曜社 2026)

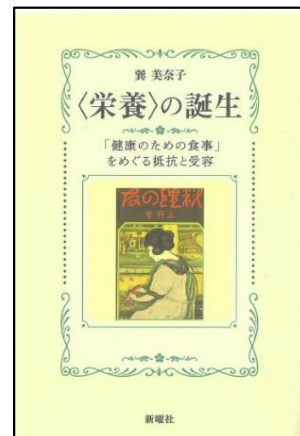
司書が日常の中で接した本から、おすすめの1冊をご紹介します。

「健康のための食事」と聞いて、何を思い浮かべますか？主食・主菜・副菜を適切に組み合わせた、五大栄養素をバランスよく摂ることができる食事を想像される方が多いのではないのでしょうか。本書は、現代では当たり前の「栄養学に基づいた食事観」が、社会に受け入れられるまでの経過を明らかにしています。

栄養学は日本で生まれた学問です。創始者である佐伯矩(さいき ただす)氏は国立の栄養研究所に所長として勤め、関東大震災時に困窮する児童のための給食を実施したほか、栄養学校を立ち上げて人材育成にも尽力しました。前者は学校給食として、後者は栄養士制度として、現代の「食」を支えています。

一方、当時の家庭料理の担い手である女性たちは、佐伯氏が考案した献立法には反発しながらも、料理雑誌に掲載された記事でビタミンなどの最新知識を得て、日々の料理に反映していました。この2つの系譜に、1930年代の戦争へと向かう時代背景が重なったことが、栄養学の受容へと繋がっていきます。

本書では女性栄養士の誕生にも触れています。男性中心の社会で専門家として働くことの苦難は、現在放送中のNHK連続テレビ小説「風、薫る」の主人公たちにも重なります。明治・大正期の女性たちの活躍に注目が集まる今、現代に続く〈栄養〉を生み出した佐伯氏とそれを受容し広めた女性たちの物語にも是非、触れてみてください。(日)



イベント案内

■館内展示

1階 ロビー

- ・「大関和を追いかけて」〈近代看護の黎明と明治のナースたち&明治の東京〉他(7月22日まで)
- ・「開館80周年記念展示 県立図書館解体新書」(7月24日から)

地下1階 読書活動支援室

- ・青少年読書感想文全国コンクール課題図書ほか(7月中旬から)
- ・栃木子どもの本の講座2026連携展示

2階 公開資料室

- ・「大関和を追いかけて」〈シスターフッドはめぐる〉(7月22日まで)

3階 地域資料室

- ・「大関和を追いかけて」〈明治の栃木&栃木県ゆかりの俳優たち〉(7月22日まで)
- ・[文書館連携]令和8年度常設展「昭和の栃木県一文書と写真で見る人々の暮らし」ほか
- ・[美術館連携]ゲームと美術(7月11日から)
- ・[博物館連携]動物からだらべ～自分とくらべてみよう～(7月18日から)

4階 公開資料室

- ・令和7年度 文学賞受賞作
- ・マリリン・モンロー生誕100年
- ・アントニ・ガウディ没後100年

図書館カレンダー

※□は休館日です。最新情報はホームページをご確認ください。

7月11日、7月25日、8月8から9日は県庁地下駐車場が利用できません。

7	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

8	日	月	火	水	木	金	土
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

9	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				



栃木県立図書館報
図書館だより 第407号

発行日 令和8(2026)年7月



発行 栃木県立図書館
〒320-0027 宇都宮市埜田1-3-23
TEL 028-622-5111(代表)
E-mail : tochilib@lib.pref.tochigi.lg.jp
HP : <https://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/>